

E 本体の取り付け

- 1 仮固定金具を掛けた状態で本体を天井開口部の取付枠に水平に挿入し、排気口・吸込口・遮へい板・取付枠の下部のツメが、本体フランジの長穴にはまり込むように取り付け、本体の仮固定金具（2個）を回転させ、仮固定金具の穴部を取付枠のツメに引っ掛けて本体を仮固定します。

- 仮固定金具を掛けた状態で本体を挿入してください。
本体を無理に入れようとする、仮固定金具が変形します。
●仮固定金具を回転させて、仮固定を行わないと、本体カバーを取り付けることができません。

注意

- 上部の引っ掛け部と下部のツメはそれぞれ確実にはめこむ
本体との密着が確実でないと、漏気漏れや本体カバーと天井面の隙間の原因になります。

- 2 本体上面の溝と排気口・吸込口・遮へい板の上部の引っ掛け部がはまり込んでいることを確認してください。

- 本体の仮固定は確実に行う
仮固定金具の引っ掛けが不十分だと、本体落下により、けがの原因になります。
- 本体止め機構は一時的な固定なので、仮止めのまま放置しない
本体落下により、けがの原因になります。

- 3 仮固定部2カ所を付属のトラスドリルねじ（2本、φ4×30L）で本体と仮固定金具を共締めにて確実に固定してください。

- 4 残りの4カ所を付属のトラスドリルねじ（4本、φ4×30L）で確実に固定してください。

F 本体カバーの取り付け

- 1 本体カバーからフィルターをはずします。

- フィルターは、洗い場側からしかはずせませんので
取り付け前にはずしてください。

- 2 本体カバーは吹出グリルとヒーター部の位置を合わせて取り付けてください。また、吹出グリルの凸部が洗い場側になるように向きを変えてください。

- 吹出グリルとヒーター部の位置を合わせる
正しく取り付けないと部品の変形の原因になります。

- 3 本体カバーに付いているねじカバー（4個）をはずし、あらかじめ取り付けられているトラスねじ（4本、M4×12L）で本体カバーを固定してください。

- ねじカバーの支持部を引っ張ったり、曲げるなどの力を加えないでください。

- 4 本体カバー・取付予備ねじを締める場合は、付属のトラスタッピンねじ（3種）（2本、M4×10L）で薄肉部（2カ所）を貫通させて固定してください。

- 本体カバーのねじ固定は必ず手締めで行ってください。
電動ドライバーなどで強く締め付けると、本体カバーが割れることがあります。
- 本体カバー・取付予備ねじの固定は天井面と本体カバーの隙間が気になる場合に行ってください。

- 5 フィルターを洗い場側から差し込みます。

G 吸込グリルの取り付け

- 1 吸込ダクト（不燃材料）をトイレ・洗面所の天井材の開口部まで配管します。

- 2 天井材を張り、取り付け位置に右図を参照して開口部と取付下穴(φ6)を開けます。

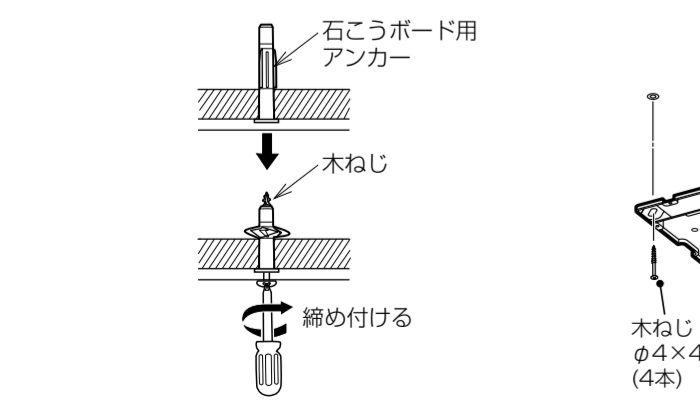
- 3 取付下穴に付属の石こうボード用アンカー（4本）を差し込みます。

- 野縁に取り付ける場合は、付属の本ねじのみご使用ください。
●天井板の厚みが12mmを超える場合は石こうボード用アンカーは使えません。

- 4 グリルと取付枠をはずし、付属のバックンを取付枠に貼り付けます。

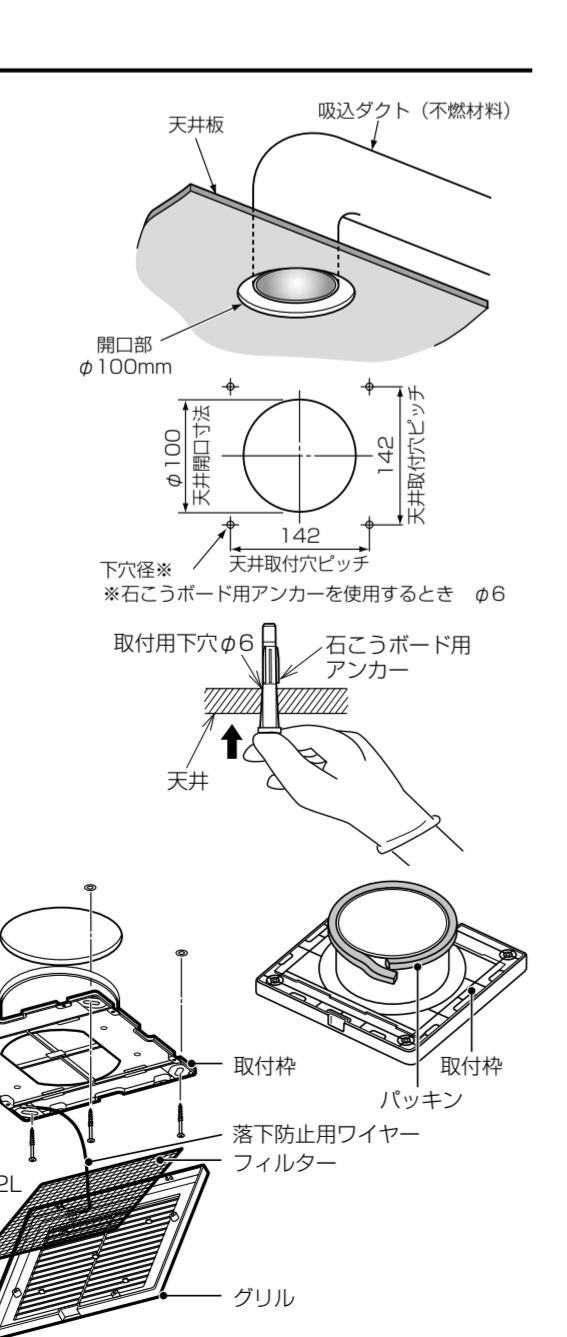
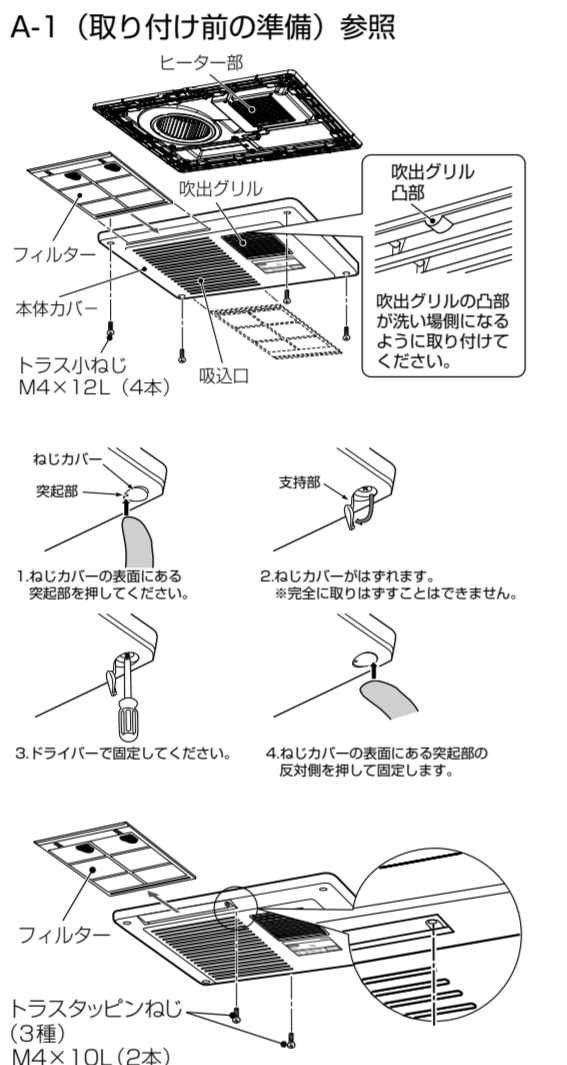
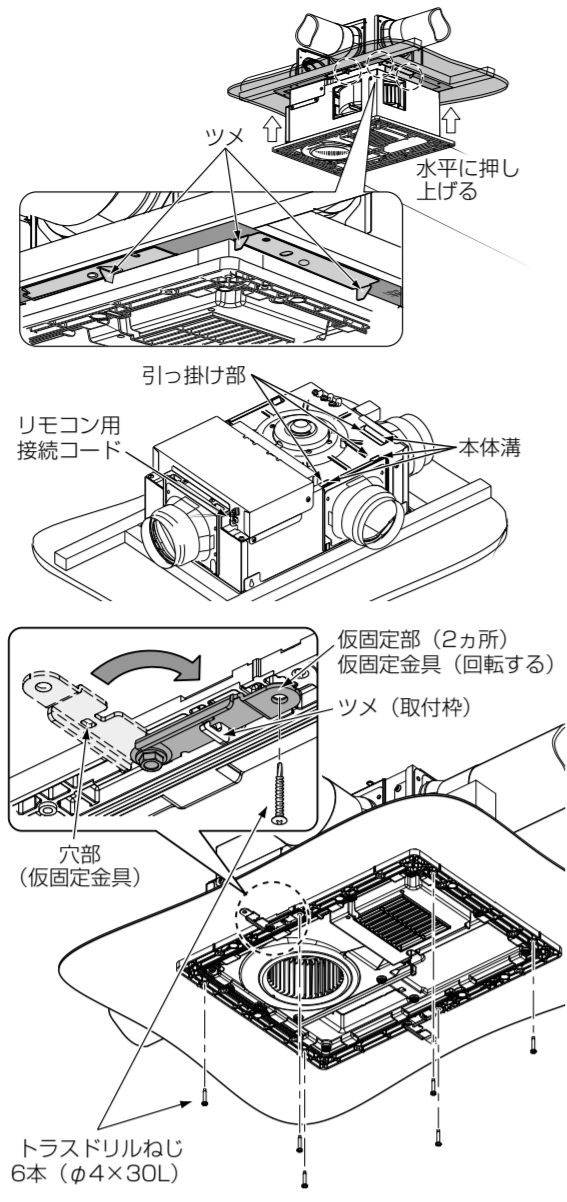
- 5 取付枠をダクトにはめ込みます。

- 6 付属の本ねじ（4本、φ4×42L）で石こうボード用アンカーの位置に固定します。



- ねじの締めすぎに注意してください。締め込みすぎると天井材が破損したり、クロスが破れる原因になります。

- 7 グリルと付属のフィルターを落下防止用ワイヤーをかきこまないように取付枠に取り付けます。



H 電気工事

- 警告 ●電源は単相AC100Vを使用する

注意

- 電気工事・アース工事は電気設備技術基準や内線規程に従って、電気工事が行う

- アース工事はD種接地工事に基いて確実に行う
- 電源電線および接続電線の接続は確実に行う
- 電源電線は専用の分岐ブレーカー（20A）より配線する
- アースを確実に取り付け漏電遮断器を設ける

お願い

- 専用の漏電遮断器を設置の場合は、過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速形（定格感度電流15mA・動作時間0.1秒以下）のものをお選びください。
- 天井のふところが狭い場合、電源接続は本体取り付け前に行うか、あらかじめ点検口付近まで配線を行ってください。

配線図

- 太線部を配線してください。
トイレル/洗面所で照明を消した後、一定時間後(※)に換気扇の運転を止めることができます。

- 1つのスイッチで換気と照明を同時にON/OFF できます。
※DVB-18SWD3シリーズ、18STD3シリーズのトイレ残置運転機能と連動スイッチを組み合わせて使用した場合、各々の設定時間の合計となります。

- ただし、本製品に切り忘れ防止機能があるため最大で30分間となります。また、DVB-18SW3、18ST3にはトイレ残置運転機能はありません。

- より線は接続不良により発熱の恐れがあるため使用しない
SL端子はφ1.6またはφ2mmの単線専用です。

- 警告 ●電源用SL端子のアース接続部には電源電線を接続しない
感電・発煙・発火の原因になります。

- 注意 ●電源用SL端子にはトイレ（外部）スイッチ連動用接続電線を接続しない
トイレ（外部）スイッチが発煙・発火する原因になります。

- 電源電線・アース線の接続

- 警告 ●電源用SL端子のアース接続部には電源電線を接続しない
感電・発煙・発火の原因になります。

- 注意 ●電源用SL端子にはトイレ（外部）スイッチ連動用接続電線を接続しない
トイレ（外部）スイッチが発煙・発火する原因になります。

- 1 ねじ1本をゆるめSL端子カバーを開けます。

- 2 電源電線を接続します。
電源用SL端子にAC100Vの電源電線（VVFケーブルφ1.6またはφ2mm）の芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。
●電線先端の皮むき寸法は15mmです。
●電線外皮は30mmむいてください。

- 3 電源用SL端子のアース識別ラベルをはがし、アース接続部にアース線を接続します。

- 4 SL端子カバーを閉じて、ねじで固定します。

- 5 電源電線とアース線をコードクリップで束ねます。

- モータ部周辺に近づけないように配線してください。
ノイズによる誤動作の原因になります。

- 6 電源電線とアース線を固定します。
コード止めのねじをはずし、電源電線とアース線をまとめてコード止めにはさみ、はずしたねじで固定します。

- トイレ（外部）スイッチを使用する場合

- 電源用SL端子にはトイレ（外部）スイッチ連動用接続電線を接続しない
トイレ（外部）スイッチが発煙・発火する原因になります。

- ※トイレ（外部）スイッチは、浴室換気乾燥機本体の換気ファンをトイレ/洗面所から「運転/停止」するために設置するスイッチです。

- 7 識別ラベルをはがし接続電線を接続します。
トイレ（外部）スイッチ用SL端子にAC100Vの接続電線（VVFケーブルφ1.6またはφ2mm）の芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。
●電線先端の皮むき寸法は15mmです。
●電線外皮は30mmむいてください。

- 8 接続電線を固定します。
電源電線と同様に、コードクリップで束ねてコード止めで固定します。

- モータ部周辺に近づけないように配線してください。
ノイズによる誤動作の原因になる恐れがあります。

- トイレ（外部）スイッチに適応可能な市販スイッチ

- ・トイレ、洗面所の「換気スイッチ」としてパイロットランプ付の2線式スイッチを使用する場合は、下表の（低ワット）スイッチを使用してください。

- ・「換気スイッチ」を「照明スイッチ」と兼用する場合は、スイッチの定格は照明器の消費電力に合わせて下表より選定してください。

- ・下表は2015年5月現在のものです。形名が変更される場合があります。また、使用の可否は弊社確認によるものですので、スイッチメーカーへのお問い合わせをご遠慮ください。

- パイロットランプなしスイッチ
一般的な片切・3路兼用スイッチ（AC100V～300V）が使用できます。

- パイロットランプ付（オンピカタイプ）スイッチ

- メーカー 形 名 種 類 品 名

- 東芝ライテック WDG1453 WIDEI 片切・3路兼用2線式 0.5A～100Vオンオフピカ（低ワット用）

- 東芝キヤリア SVF-52S (ww) WIDEI 片切・3路兼用2線式 0.5A～100Vオンオフピカ（低ワット用セット品）

- 東芝キヤリア SVF-72S (ww) WIDEI 片切・3路兼用2線式 0.5A～100Vオンオフピカ（低ワット用セット品）

- 照明回路一体型パイロットランプ付（オンオフピカタイプ）連動スイッチ
※適応機種はDVB-18SW3、18ST3のみを推奨します。
DVB-18SWD3シリーズ、18STD3シリーズは本製品にトイレ残置運転機能をもってあります。

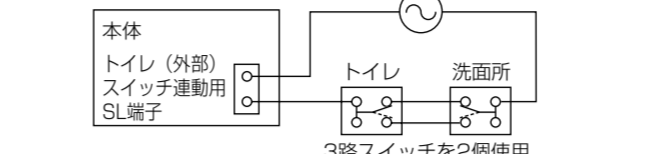
- メーカー 形 名 種 類 品 名

- 東芝ライテック WDG1722L WIDEI 換気扇連動回路 0.6A～100Vオンオフピカ（低ワット連動単回路可）

- 照明回路 3A～100V

- トイレ（外部）スイッチ用結線例
◎2カ所ON/OFF

- 任意方向にスイッチを倒すとトイレ（外部）スイッチをON/OFFできます。



- 照明同一回路（照明＋連動スイッチを使用）
○トイレ/洗面所で照明を消した後、一定時間後(※)に換気扇の運転を止めることができます。

- 1つのスイッチで換気と照明を同時にON/OFF できます。
※DVB-18SWD3シリーズ、18STD3シリーズのトイレ残置運転機能と連動スイッチを組み合わせて使用した場合、各々の設定時間の合計となります。

- ただし、本製品に切り忘れ防止機能があるため最大で30分間となります。また、DVB-18SW3、18ST3にはトイレ残置運転機能はありません。

- 照明同一回路（照明＋連動スイッチを使用）
○トイレ/洗面所で照明を消した後、一定時間後(※)に換気扇の運転を止めることができます。

- 1つのスイッチで換気と照明を同時にON/OFF できます。
※DVB-18SWD3シリーズ、18STD3シリーズのトイレ残置運転機能と連動スイッチを組み合わせて使用した場合、各々の設定時間の合計となります。

- ただし、本製品に切り忘れ防止機能があるため最大で30分間となります。また、DVB-18SW3、18ST3にはトイレ残置運転機能はありません。

- リモコンコードの接続

- 9 付属のリモコンコードを本体側のリモコン用接続コードに接続します。

- 10 リモコンコードをリモコン取り付け位置まで配線します。

- コネクタはカチッというまで確実に接続してください。

- リモコンの取り付け

- 取り付け前の準備

- リモコン（別売品）
※DVB-18SWD3シリーズ、18STD3にはDBC-18SS3が同梱されています。

- 準備するねじ
スイッチボックスに取り付ける場合 ……φ4×20L 皿ねじ（標準タイプ：3本、照明タイプ：6本）市販標準品
壁に取り付ける場合 ……φ4×35L 皿タッピンねじ（4本）リモコン付属品

- リモコンコード（製品本体同梱品、有効長5m）
スイッチボックスの長さが足りない場合は、別売の応用部材「リモコンコード」DBC-18S（有効長10m）をご使用ください。また、製品本体同梱品のリモコンコードに接続して延長することはできません。・本体側に約2m余裕をもたせて配線してください（本体側結線時に天井からコードを降ろすことがあります）

- 取り付け手順

- 2個用スイッチボックスに取り付ける場合
（イラストはDBC-18SS3です）
DVB-18SWD3シリーズ、18STD3シリーズ：別売 DBC-18SS3
DVB-18SW3、18ST3 ……別売 DBC-18SA3

- 1 壁に市販の2個用スイッチボックスを埋め込み、リモコンコードを配線します。

- 2 マイナスドライバーをリモコンカバー下部の溝に差し込んで、リモコンカバーをリモコン取付板からはずします。

- 3 リモコンコードをリモコン取付板の穴に通した後、リモコン取付板をスイッチボックスに市販の皿ねじ（3本）で固定します。

- 4 リモコンコードをリモコンカバーのコネクタに接続します。

- お願い ●皿ねじを締めすぎないでください。リモコン取付板の角が浮いたり、ねじ部が割れる恐れがあります。
●コネクタはカチッというまで確実に接続してください。

- 5 リモコンカバーをリモコン取付板にはめ込みます。

- 壁に直接取り付けする場合
（イラストはDBC-18SS3です）
DVB-18SWD3シリーズ、18STD3シリーズ：別売 DBC-18SS3
DVB-18SW3、18ST3 ……別売 DBC-18SA3

- 1 壁にφ25mmの穴をあけ、リモコンコードを配線します。

- 2 マイナスドライバーをリモコンカバー下部の溝に差し込んで、リモコンカバーをリモコン取付板からはずします。

- 3 リモコンコードをリモコン取付板の穴に通した後、リモコン取付板を付属の皿タッピンねじ（φ4×35L、4本）で壁に固定します。

- 4 リモコンコードをリモコンカバーのコネクタに接続します。

- 5 リモコンカバーをリモコン取付板にはめ込みます。

- 3個用スイッチボックスに取り付ける場合
（イラストはDBC-18SSL3です）
DVB-18SWD3シリーズ、18STD3シリーズ：別売 DBC-18SSL3
DVB-18SW3、18ST3 ……別売 DBC-18SAL3

- 1 壁に市販の3個用スイッチボックスを埋め込み、リモコンコードと照明用電源電線を配線します。

- 2 マイナスドライバーをリモコンカバー下部の溝に差し込んで、リモコンカバーをリモコン取付板からはずします。

- 3 お客様手配の照明用スイッチを説明書に従い結線します。

- 4 リモコンコードをリモコン取付板の穴に通した後、リモコン取付板と照明用スイッチをスイッチボックスに市販の皿ねじ（6本）で固定します。

- 5 リモコンコードをリモコンカバーのコネクタに接続します。

- 6 リモコンカバーをリモコン取付板にはめ込みます。

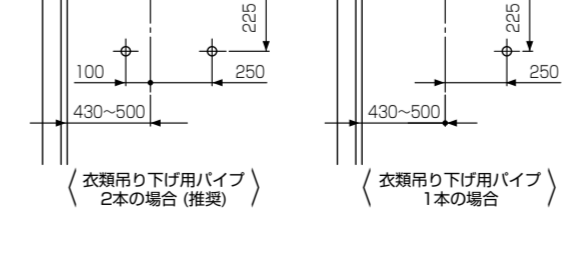
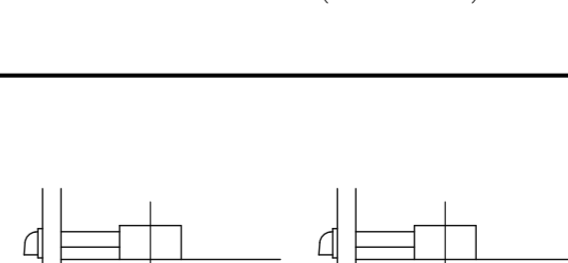
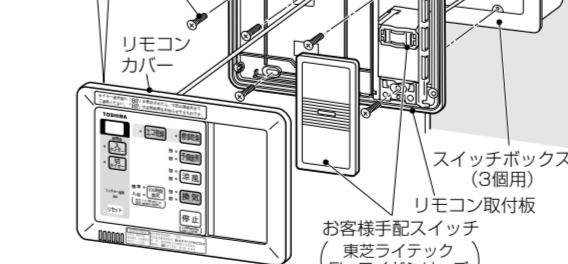
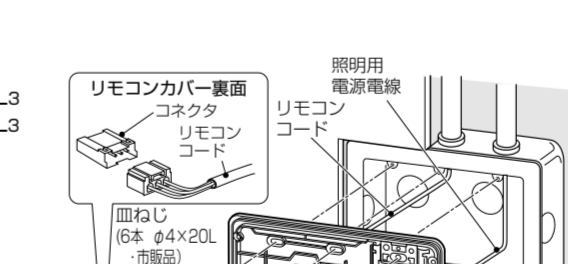
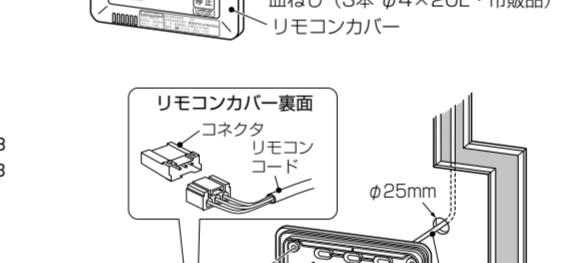
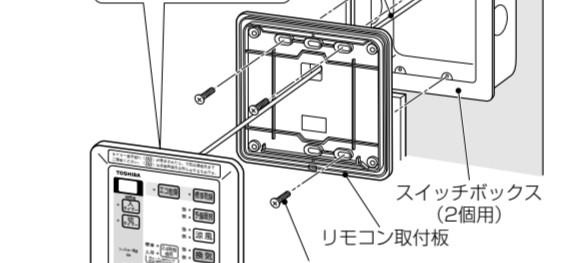
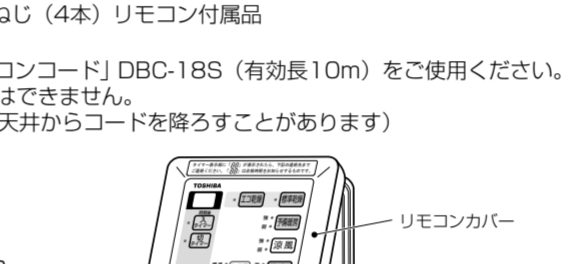
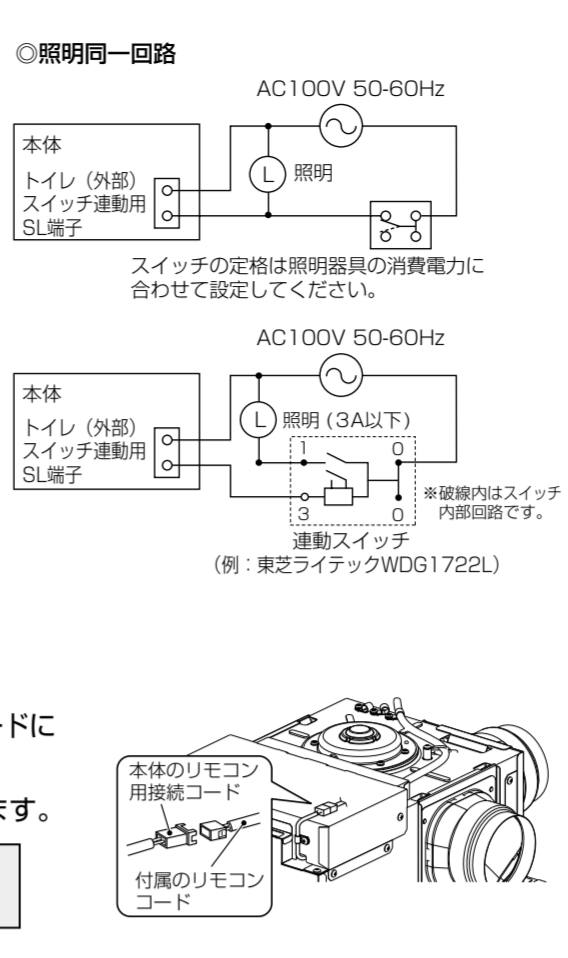
- 衣類吊り下げ用パイプの取り付け

- 右図の位置に市販の衣類吊り下げ用パイプを取り付けます。

- パイプを購入されるときは必ず1本当たり4kg以上の重量に耐える不燃性および耐食性のもの入手してください。

- パイプの取り付け位置は右図を基準としてください。（基準の寸法以外で取り付けますと乾燥時間が長くなります。また基準の寸法より本体に近づけるとパイプが過熱し、やけどの原因になります。）

- 2本目の衣類吊り下げ用パイプを取り付けていたとくと、乾燥時間が短くなります。



試運転および初めて電源を入れる場合

- 試運転の前に…もう一度、電源電線・リモコンコードの接続を確認して、AC100Vの分電盤ブレーカーを入れて試運転を行ってください。

- 電気工事が終了したら結線が間違っていないか確認して、製品本体の取扱説明書の使いかたを参照し、正常な運転ができるか、また、本体の取り付けが確実に振動・異音がないことを確認してください。

- 1 電源ブレーカーを入れます。（イラストはDBC-18SS3です）
取り付け後初めて電源を入れると、24時間換気の（標準）運転ランプが点滅します。
※各運転モードのボタンを押すと、24時間換気の（標準）運転ランプが点灯に変わります。

- DVB-18SWD3シリーズ、18STD3シリーズは配管ダクトの圧力損失を計算するための調整運転を約30秒間自動的に行います。
換気ファンが高速でまわり運転音が大きくなりますが、故障ではありません。
調整運転終了後、各運転モードに切り替わります。

- 2 取扱説明書にしたがい、「24時間換気」「換気」「乾燥」「予備暖房」「涼風」が正常に運転するが確認します。

- ・24時間換気・換気 …… 本体カバーの吸込口から換気していることを確認してください。
- ・乾燥・予備暖房 …… 本体カバーの吹出グリルから温風が出ていることを確認してください。
- ・涼風 …… 本体カバーの吹出グリルから風が出ていることを確認してください。

- ◆本製品には自己点検機能があり、運転ランプの点滅で異常内容を表示します。

表示	異常内容	処 置
全てのランプが点滅（約1秒間5回繰り返し）	200V印加	100V電源を接続し、再度ブレーカーを入れてください。
入タイマーランプが点滅（DVB-18SWD3シリーズ、18STD3シリーズ）	本体とリモコンの通信異常	リモコンコードとリモコンの接続を確認してください。
タイマー（1H）ランプが点滅（DVB-18SW3、18ST3）	タイマーランプが点滅	タイマーランプが点滅していることを確認してください。
タイマーランプが点滅（DVB-18SW3、18ST3）	タイマーランプが点滅	タイマーランプが点滅していることを確認してください。

- 製品本体の取扱説明書にもその他のエラーコードとその対応が記載されています。
あわせて確認してください。
●処置をしても症状が変わらない場合は、販売店を切ってお買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

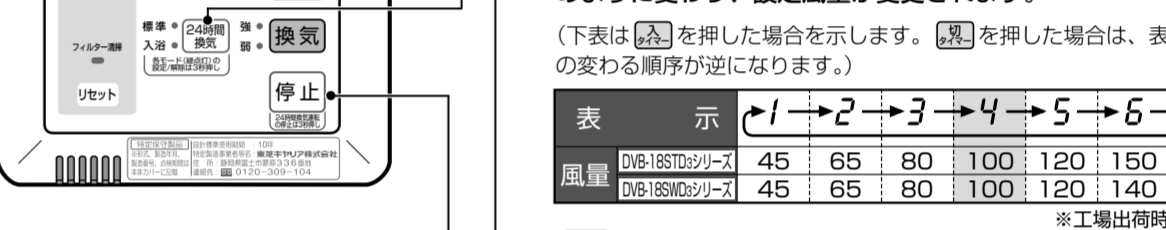
- 設定の変更と確認

- 設定の変更と確認は製品が停止の状態で行ってください。
●停電やブレーカーが切れた場合も設定は記憶されています。

- ※DVB-18SWD3シリーズ、18STD3シリーズのみです。（DVB-18SW3、18ST3にはありません。）

- 24時間換気風量の変更・設定を確認する

- 24時間換気風量の初期設定を変更・確認する場合は、次の手順で行います。



- 1 タイマー表示部が右図の表示で点滅します。

- 2 換気を押します。
タイマー表示部の左側が「b」で点灯し、右側に現在の設定風量の表示が点滅します。

- 3 または、換気を押すごとにタイマー表示部の右側が下表のように変わり、設定風量に変更されます。
（下表は「b」を押した場合を示します。「b」を押した場合は、表示の変わる順序が逆になります。）

- 表 示 1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7

- 風量 DVB-18SWD3シリーズ 45 65 80 100 120 150 180

- DVB-18STD3シリーズ 45 65 80 100 120 140 160

- ※工場出荷時：表示4

- 4 停止を押します。
設定が終了し、タイマー表示部が点灯に変わり約3秒後に消灯します。
※次回より変更された風量の表示が設定値として表示されます。

- タイマー表示部

- 1 タイマー表示部が右図の表示で点滅します。

- 2 換気を押します。
タイマー表示部の左側が「A」で点灯し、右側に現在の設定風量の表示が点滅します。

- 3 または、換気を押すごとにタイマー表示部の右側が下表のように変わり、設定風量に変更されます。
（下表は「A」を押した場合を示します。「A」を押した場合は、表示の変わる順序が逆になります。）

- 表 示 1 → 2

- 風量 DVB-18SWD3シリーズ 210 230

- DVB-18STD3シリーズ 190 210

- ※工場出荷時：表示1

- 4 停止を押します。
設定が終了し、タイマー表示部が点灯に変わり約3秒後に消灯します。
※次回より変更された風量の表示が設定値として表示されます。

- タイマー表示部

- 1 タイマー表示部が右図の表示で点滅します。

- 2 換気を押します。
タイマー表示部の左側が「H」で点灯し、右側に現在の設定時間の表示が点滅します。

- 3 または、換気を押すごとにタイマー表示部の右側が下表のように変わり、残置運転時間が変更されます。
（下表は「H」を押した場合を示します。「H」を押した場合は、表示の変わる順序が逆になります。）

- 表示 0分 (残置時間なし) 1分 3分 7分 15分

- 時間 (残置時間なし) 1分 3分 7分 15分

- 4 停止を押します。
設定が終了し、タイマー表示部が点灯に変わり約3秒後に消灯します。
※次回より変更された時間の表示が設定値として表示されます。

- お知らせ…残置運転について

- トイレスイッチ「切」操作後も操作前の運転状態を一定時間継続する機能です。
- トイレスイッチの切り忘れ防止の為、トイレスイッチ「入」状態でも最大で15分＋残置運転時間でトイレスイッチ「切」状態に運転状態が戻ります。運転表示ランプ付のトイレスイッチは「入」表示のままとなります。再度、トイレ換気を運転したい場合は、一旦、トイレスイッチを切って（2秒程度経過）からトイレスイッチを入れ直してください。